

「ひとが人として認めあい、ともに育つ地域社会」

第15号
男女共同参画広報紙

は～とふる 日光



山田専務

女性の中で 輝く男性



谷津さん

新郷さん



©日光仮面

今回は、平成24年度に「日光市男女共同参画推進事業者表彰」を受賞された「丸彦製菓株式会社」と、女性の中で輝く男性保育士取材しました。「女将さんリレー」のコーナーは第3回目になります。ぜひご覧ください。

日光市DV・児童虐待防止講演会

プライバシーに閉ざされた、周りから見るとごく一般的な家庭のなかで、DVや児童虐待が日常的に行われている現実。家庭内で起きる虐待やDVの問題性を認識し、支援のあり方について考えましょう。



日時：平成25年11月9日(土) 13:30～〔受付13:00〕

場所：日光市中央公民館 中ホール (日光市平ヶ崎160)

内容：Ⅰ部 朗読劇〔13:40～13:55〕

『サルカニ・バイオレンス』

出演 栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会

Ⅱ部 講演〔14:00～15:30〕

演題 『児童虐待・DV被害のあるご家庭を支援するために』

講師 神奈川県立保健福祉大学教授 しんぼきお 新保幸男氏

『個人も企業も成長するワーク・ライフ・バランス』講演会

病気を患う家族とともに生活をしながら企業人として取締役役に就任。激務と家庭とのバランスをどのようにこなしてきたのか？仕事も家庭も諦めなかった佐々木氏の実体験のお話を聞いて、明日から頑張れる勇気と感動を分けていただきます。

◆日時：平成25年11月19日(火) 18:00～19:30

◆場所：日光市中央公民館 中ホール (日光市平ヶ崎160)

◆演題：『個人も企業も成長するワーク・ライフ・バランス』

◆講師：株式会社東レ経営研究所 特別顧問 ささきつねお 佐々木常夫氏



Nikko Woman's
Support Center
Festival 2013

日光市
女性サポートセンター
まつり
2013

日時

2013年
11月16日(土) 9:00～12:00【体験】
9:00～21:00【展示】
17日(日) 9:00～21:00【展示のみ】

場所

日光市女性サポートセンター
(清滝桜ヶ丘町210番地7)

日光市 男女共同参画セミナー



日光市では、5地域及び市内全ての高等学校でセミナーを行っています。

詳しくは、市広報紙や市ホームページに掲載していきます。

日光市男女共同参画社会づくりフォーラム in 日光

演題

「女(ひと)と男(ひと)が支えあうまちづくり」

講師

香山^{かやま}リカ 氏(精神科医)

◆日時：平成 26 年 2 月 22 日(土)【午後開催予定】

◆場所：今市文化会館(平ヶ崎 160)

◆主催：日光市・日光市男女共同参画社会づくり市民会議

※演題は予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。



男女共同参画を推進している事業者の表彰を行いました。

丸彦製菓株式会社

性別によらない人員配置、社員のワーク・ライフ・バランスの支援、育児休暇を取得できる職場環境づくり等様々な取り組みをしています。



長畑自治会

自治会内の女性に、自治会役員就任の働きかけを積極的に行い、次期女性役員を育成しています。

【男女が共に働きやすい職場を表彰しています】

- ◆採用や昇給に男女差がない
- ◆託児所を設けている
- ◆男性ばかりの職場に女性を採用した
- ◆育児休暇などをとりやすい環境づくりをしている など



※表彰されると、市ホームページや「は～とふる日光」内でご紹介させていただきます。自薦他薦は問いません。ページ下段の連絡先までお問合せください。

男女共同参画の施策等に対する意見の申出

男女共同参画社会づくりにそぐわない市の施策等への意見の申出ができます。

詳しくは、下記の連絡先までお問合せください。

問い合わせ先

日光市健康福祉部 人権・男女共同参画課

電話：21-5148 FAX：21-5105 E-mail：jinken-danjo@city.nikko.lg.jp



女性が働きやすい

昭和2年創業、平成18年に日光市芹沼に工場を移転し、高品質でおいしいおかきを製造されている丸彦製菓株式会社さん。

平成24年度に男女共同参画を推進している事業者として表彰されました。今回はその企業の取組みについてうかがいました。



専務取締役
やまだ くにひろ
山田邦彦さん

Q

役職についている女性の方は何名いらっしゃいますか？

A 山田専務

役職者78名のうち34名と半分近くが女性です。包装部門など細かい作業は主に女性に作業していただいています。

Q

パートの方は何人ぐらいいますか？

A

山田専務

100人ぐらいいます。3交代制で女性でも夜勤をされている方がいます。

Q

働きやすい環境づくりや特殊な取組みを行っていますか？

A 山田専務

水曜日は基本ノー残業デーを推進しています。夏場はお煎餅の消費が閑散期になりますので、その時期は早めに退社していただき、リフレッシュして次の日につなげてもらうことを進めています。

Q

産休・育休を取得後、職場への復帰はどのようになっていますか？

A 山田専務

基本的にはもとの職場に復帰していただいております。お休み中にその生産ラインが変更になっていた場合は相談しながら従業員の配置を決めています。



総務班長
よしはら のぶよ
吉原伸世さん

Q

社内に保育施設はありますか？

A 山田専務

現在設置を検討中です。若い職員もいるので社内に子供を預けられれば非常に働きやすいと考えています。

Q

女性にとって優しい職場ですが、他の人にもこの職場を勧めますか？

A 吉原さん

育児休暇をとった後にハンディキャップもなく、すぐに現場に戻ることが出来て、皆さんが温かく迎える体制が整っていますのでその点は理想的な環境にあると思います。



環境を整える

Q

アンテナショップ
(売店)のレイアウトは現場に任せているのですか？

A

山田専務

店長以下、皆さん女性なのですが、大体のレイアウトは女性主導で配置しています。ショーケースなど四季ごとに「ここはここの方がいいんじゃないですか？」など女性の感覚で季節感が出るようにしています。



Q

会社としての従業員へのメンタルケアはどのような取組みを行っていますか？

A

山田専務

安全衛生委員会を月1回開催しています。その中に産業医がおりまして、調子の悪い方がいれば相談を行い心のケアをしています。

Q

職場環境づくりで気を付けているところはありますか？

A

山田専務

毎日「健康チェック表」をつけさせています。◎は家族とも健康、○△ならちょっと調子が悪いなど、それをみて早めの対処を取れるような体制をとっています。

Q

小さいお子さんがいる場合、突然お休みをとることもあると思いますが、時間休などとれるのでしょうか？

A

吉原さん

いま現場でも小さいお子様を抱えている方もたくさんおります。急な学校からの呼び出しも現場でフォローしあいながらお仕事をしています。

取材にあたっての感想

企業、会社など働く職場に保育施設は今後必要と思われます。貴社の考えはうれしいかぎりです。是非実現させていただきたいと思います。

「女将さん」リレー

ばん たまえ
伴 玉枝さん

3回目の女将さんリレーは、300年以上の歴史を誇る本家伴久24代目女将の 伴 玉枝さんです。



【男女共同参画について】

「女だから」「男だから」じゃなくて人間として自らの尊厳を持っていれば、何のてらいもなく、やはりお人の為にもなろうし、発言も出来るだろうし。あの、名誉とか権限のために出るんじゃないんだから、この社会の中で「どうあったらいいか」っていうのに自分が役にたてばいいなってだけで、（お互いを理解し続けて）相手を敵に回すことは絶対ないのだから。みんな同じ仲間として、世の中を良くしていくのだから。理解し続けていくのに男も女も無理はないようにしなければいけないのではないのでしょうか。

【東日本大震災では、被害は無かったですか？】

あれだけの大きな災害だったので被害は無かったわけではなくて大変でしたね。でも、災害はプラスに変えないと！そこで萎えちゃダメ。一番苦しいときに発想の転換。必ず道はあるんですよ。それは人間に生まれた頭脳を天に返す時ね。

ねもと まさこ
次回の女将さんは、日光地域の根本方子さんです。

女性の中で輝く男性特集

15号では「女性の職場で活躍する男性」を特集することになり、今回は木和田島の「さかえ保育園」で活躍されている2人の男性保育士、谷津貴之さん^{や づ た か ゆ き}と新郷迪慎さん^{しん こう の り みち}の素顔取材しました。



谷津貴之さん

Q:「保育士になろう!」と思った動機はどんなことからですか?

谷津さん: 小学校のころから年下の子と遊ぶのが好きで、学生の時の職場体験で改めて認識して保育士になろうと思いました。

新郷さん: 子供のころ父が仕事で中々一緒に遊べなくて、やっぱりお父さんと遊ぶときは思いつき遊ぶ事が多くて、それが保育士になろうと思った動機です。

Q: 子供と接する上で、「男性でよかったなあ」と思うことは?

谷津さん: 男性の方が体力があるので、鬼ごっことか男の子たちと遊ぶ時など、真剣勝負でぶつかりあってへっぺになるまで遊べる場所。

新郷さん: まだ、3カ月目なのですが、女の子がぐずって泣いている時に女性の先生より自分が話しかけたほうが、すぐに泣き止んだりして、そんなところが勝っちゃったというか… (笑)

Q: お2人が目標とする保育士像と、将来の夢を聞かせてください。

谷津さん: 職場にいる先輩方です。仕事も速いしピアノも上手い、いろんな面で見習いたい。夢は歳を取ってもこの仕事を続けたい。

新郷さん: 自分もベテランの貴之先生の行動を見ながら頑張り、誰からでも頼られる保育士になりたい。



新郷迪慎さん

Q: どのような思いから男性の保育士を採用されたのですか?

福田園長: 女性ばかりの職場でしたが、名称も保育士にかわり、男性も専門学校を卒業する時代となって、初めて谷津君が実習に来ました。「男性保育士を頼んでどうかなあ?」と考えました。若い先生から昭和初期の私までいる中で、どうなのか悩みまして、家庭の子供たちの生い立ちを見る中で、お父さんの居ない子、お母さんの居ない子、お父さんの厳しさも無くなっていく中で考えて、私の目に狂いが無かったと思います。採用して困ったと思うことは最初から無く、子供たちが常に貴之先生にまわりついています。子供たちの目線になって意見も言ってくれて、それがすごく良くて7年がたちました。



編集後記

女性が就労しやすい企業の取り組みや、女性が多い職場で活躍する男性の姿を見ることができました。女将さんから元気が出る言葉を頂き、男女が共に活躍することによって、毎日が充実したものなるものだと感じました。取材に応じていただいた方々、お忙しいところ時間をつくっていただきありがとうございました。感謝いたします。

【取材・編集】 坪内めぐむ (今市) 山本美保 (栗山) 赤澤正之 (今市) 福田幸子 (今市) 小日向 智 (日光) 渡辺早苗 (日光) 荒引寿子 (藤原) 福田賢作 (藤原) 京井陸奥夫 (足尾) 桑原弘子 (足尾) 湯澤喜十郎 (栗山)